



**あたたか住まいで暮らしが変わる
～アンケート調査結果より～**

自己紹介

旭化成建材 快適空間研究所 主任研究員

濱田香織

旭化成入社。断熱材営業担当後、断熱材のカatalog・WEBサイト制作業務などに携わる。

2016年より現職。温熱性能の高い住まいの価値を見出し、わかりやすく伝えるため、WEB調査、訪問調査によるアンケート調査の実施。日本建築学会への論文投稿。季刊誌、WEBサイトの制作業務等にあたる。

プライベートでは3人子育てに奮闘中。



本日本話しする内容

- 1 旭化成建材 快適空間研究所の紹介
- 2 あたたかい住まいにすると暮らしはどう変わる？
- 3 最後に



旭化成建材 快適空間研究所の紹介

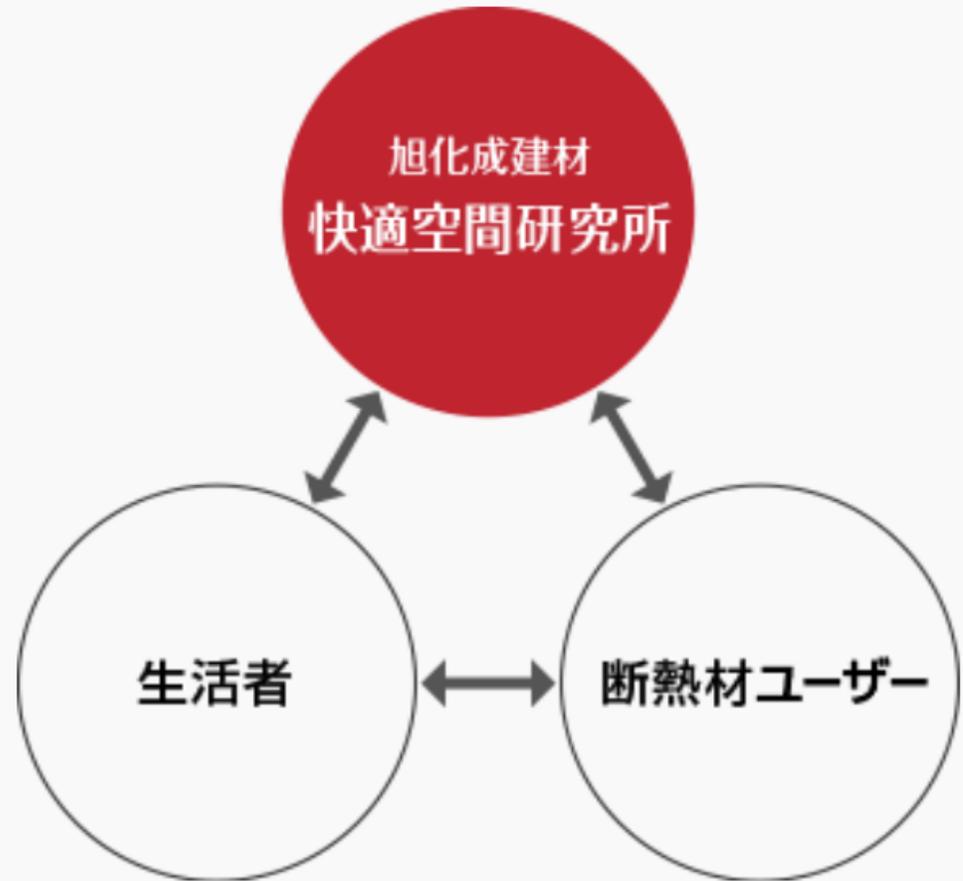
快適空間研究所とは

2014年に発足し、調査研究やマーケティング活動を推進

快適空間研究所の主な活動内容

快適な空間を実現するための温熱環境の調査研究、及びそれらの結果を踏まえたコンセプト開発、マーケティング活動などを行います。

1. 戸建住宅の温熱環境と生活実態の把握による居住空間での温熱環境ニーズの発掘
2. 活動方針に共感いただける社外の関連企業、大学等の研究機関、行政、生活者等との協働
3. 研究成果の断熱材ユーザーや生活者への情報発信と断熱材事業へのフィードバック



主な活動紹介

➤ 空間体験施設

・ネオマワールド
体験棟ネオマの家

展示棟快適空間ラボラトリー



➤ PR活動・啓発活動

・書籍「あたたかい暮らしのヒミツ」(エクスナレッジ)
・季刊誌「あたたか族」・WEBサイト「良質なくらし」等



➤ 調査・研究

・2016年より生活者調査を継続的に実施中
日本建築学会への論文投稿、リリース発表(計11回)等

8029 日本建築学会大会学術発表要旨集 建築 2020年7月

住まいの温熱環境の実態と満足度調査 その6
～温熱環境の変化が家族のコミュニケーションに与える影響～

正会員 戸建住宅 子育て 温熱環境 家族関係 満足度
副会員 〇濱田有希* 〇橋本洋子* 〇橋本 大塚弘樹*

はじめに
本一連の調査は、温熱性能が高い住まいが、居住者の満足度、生活・家事行動、暮らしの質に与える影響について明らかにすることを目的に実施してきた。前稿では、住まいの温熱環境の変化が、家事に与える影響、質に与える影響について明らかにした。本稿では、住まいの温熱環境の変化が、子育てや夫婦関係といった家族コミュニケーション、時間の使い方に与える影響について明らかにする。

2. 調査の方法
調査方法の概要を表1に示す。断熱改修世代による影響を調査する子育て、換気設備世代別調査(表1)を実施し、

割合は高くなっている。また、「子供と一緒に過ごす時間が増えた」「ゆとりができて子供に優しく接することができるようになった」についても同様の傾向が見られることが分かった。

筆者らが過去に実施した訪問調査においても、「家が暖かくなったことで子供の体調を心配して往來することが減り、優しい話になったと感じる」というコメントがあった。家の中が暖かくなれば、子供の健康・安全への心配が減り、子供と過ごす時間が増え、気持ちよゆとりができて子供にも優しく接することができるようになることが推察される。また、より窓ガラス性能が高い住まいが普及すれば、冬場の室温低下が抑制され、暖房の



Home & Living

PRESS RELEASE

AsahiKASEI

2021年5月18日

旭化成建材株式会社

各位

—「住宅内の空気・換気に関する意識と実態」調査結果について—
自宅のきれいな空気への意識が高まる一方で、「換気ができていると思っている」と回答した人の割合は半数以上に、生活者の換気に関する知識と情報収集の少なさも明らかに。

旭化成建材株式会社(本社:東京都千代田区、社長:山越 保正)「快適空間研究所」(以下、「快適空間研究所」)は、これまで住まいの温熱環境(あたたかさ・涼しさ)に関する調査を実施し、温熱環境を軸に生活者の意識や満足度に関する情報を発信してきました。快適な温熱環境を実現するためには、「断熱」「気密」「換気」などの要素が必要ですが、この度、その要素の一つである「換気」について、人々の意識や知識、換気行動の実態、新型コロナウイルス感染症拡大との変化などを調査しましたのでご報告します。

生活者調査を継続的に実施

調査概要(住まいの温熱環境の実態と満足度)

回数 項目	第1回	第2回		第3回	第4回	
		夏季調査	冬季調査			
調査時期	2016年1月	2016年8月	2017年3月	2017年9月	2018年3月	2017年12月～ 2018年2月
調査方法	WEBアンケート調査	WEBアンケート調査	WEBアンケート調査	WEBアンケート調査	WEBアンケート調査	訪問インタビュー調査
回答者数	761名	600名	637名	1192名	1229名	7名
エリア	首都圏 東京都、神奈川県、埼玉 県、千葉県	15都道府県 北海道、宮城県、首都圏 (東京都・神奈川県・埼 玉県・千葉県)、中京圏 (愛知県・三重県・岐阜 県・静岡県)、阪神圏(京 都府・大阪府・兵庫県・ 奈良県)、福岡県	15都道府県 北海道、宮城県、首都圏 (東京都・神奈川県・埼 玉県・千葉県)、中京圏 (愛知県・三重県・岐阜 県・静岡県)、阪神圏(京 都府・大阪府・兵庫県・ 奈良県)、福岡県	10地域(26都道府県) 北海道、宮城県、首都圏 (東京都・神奈川県・埼 玉県・千葉県・茨城県)、 中京圏(愛知県・三重県・ 岐阜県・静岡県)、北陸 (富山県・石川県・福井 県)、阪神圏(京都府・大 阪府・兵庫県・奈良県)、 山陽・四国(岡山県・広 島県・香川県・愛媛県)、 福岡県、宮崎県・鹿児島 県、沖縄県	10地域(25都道府県) 北海道、宮城県、首都圏 (東京都・神奈川県・埼 玉県・千葉県)、中京圏 (愛知県・三重県・岐阜 県・静岡県)、北陸(富山 県・石川県・福井県)、阪 神圏(京都府・大阪府・ 兵庫県・奈良県)、山陽・ 四国(岡山県・広島県・ 香川県・愛媛県)、福岡 県、宮崎県・鹿児島県、 沖縄県	関東 東京都、神奈川県、埼玉 県、千葉県、栃木県
調査対象者	20-60代 男女 未婚・既婚 戸建・マンション 持家居住者 (内訳:戸建385名、 マンション376名)	20-60代 男女 未婚・既婚 戸建持家居住者 同居2人以上	20-60代 男女 未婚・既婚 戸建持家居住者 同居2人以上	20-60代 男女 未婚・既婚 戸建持家居住者 同居2人以上	20-60代 男女 既婚 戸建持家居住者 同居2人以上	30-60代 女性 既婚 戸建持家居住者 同居2人以上

	住宅の温熱性能と居住者の意識調査	住宅の温熱性能と居住者の意識調査（熱中症に関する意識調査）	住まいの温熱環境の実態と満足度調査（脱衣室・浴室編）	「住まいの温熱環境（あたたかさ、涼しさ）とアンチエイジング意識・満足度」調査結果	「“共働き夫婦 在宅勤務経験者”の住まいと暮らしの意識・実態」調査結果	「住宅内の空気・換気に関する意識と実態」調査結果	「在宅勤務経験者の住まいと暮らしの意識・実態」調査結果
リリース日	2019年6月12日	2019年7月16日	2020年2月13日	2020年10月21日	2021年1月21日	2021年5月18日	2021年6月30日
メインメッセージ	温熱性能の高い住まいに暮らす人ほど「健康」「快適」「節約を大切にしている傾向に	住宅内で熱中症になったことがあると回答した人は10人に1人。発生場所は「寝室」が約28%で1位。年代が上がるほど熱中症に対する意識低くな傾向も	4割の人が冬季脱衣室で寒さを感じている。脱衣室で寒さを感じているのに、寒さ対策をしていない人は7割を超える	温熱性能が高い住まいに暮らす女性ほど、肌の乾燥・みずみずしさに満足している割合は高く87.9% 温熱性能が低い住まいに暮らす女性と比較して約3割高い	新型コロナウイルス流行前と比べて住まいでより大切になったことは「在宅の仕事のしやすさ」/新型コロナウイルス収束後も半分以上在宅勤務をしたい人は6割超/在宅勤務している場所の室内環境で大切にしているのは「温度」「昼間の明るさ」	自宅のきれいな空気への意識が高まる一方で、「換気ができていると思っていない」と回答した人の割合は半数以上に。生活者の換気に関する知識と情報収集の少なさも明らかに。	温熱性能の高い住まいの人ほど、在宅勤務時の仕事に集中できる環境に満足している割合が高く60.6% 新型コロナウイルス収束後も週の半分以上の在宅勤務をしたい人は76.4%で前回調査を上回る
調査時期	2018年12月	2018年8月	2018年12月	2020年3月	2020年9月	2021年3月	2021年3月
調査方法	WEBアンケート調査	WEBアンケート調査	WEBアンケート調査	WEBアンケート調査	WEBアンケート調査	WEBアンケート調査	WEBアンケート調査
回答者数	295名	1175名	295名	1123名	757名	1752名	1065名
エリア	関東（東京、埼玉、神奈川、千葉）	全国6地域19都道府県 首都圏（東京、埼玉、神奈川、千葉） 中京圏（岐阜、静岡、愛知、三重）、阪神圏（京都、大阪、兵庫、奈良）、山陽・四国（岡山、広島、香川、愛媛）、福岡県、宮崎・鹿児島県	関東（東京、埼玉、神奈川、千葉）	関東（東京、埼玉、神奈川、千葉）	関東（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県） 関西（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、滋賀県）	全国22都道府県（北海道、宮城県、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、岡山県、広島県、香川県、愛媛県、福岡県、宮崎県）	首都圏1都3県（東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県）
調査対象	20～70代 男女 既婚 戸建住宅居住者	20～60代 男女 既婚 戸建住宅居住者	20～70代 男女 既婚 戸建住宅居住者	20～74歳 男女 既婚 戸建住宅居住者	30～59歳 男女 既婚 共働き夫婦 2020年6月以降、自身テレワーク経験者 戸建住宅居住者	30～60歳 男女 未婚・既婚 持家戸建住宅居住者、持家・賃貸マンション居住者 同居2人以上	30～59歳 男女 既婚 配偶者同居2人以上 持家戸建住宅居住者、持家・賃貸マンション居住者 2021年1月～2月自身在宅勤務実施者

本日も話します内容

- 1 旭化成建材 快適空間研究所の紹介
- 2 あたたかい住まいにすると暮らしはどう変わる？
- 3 最後に



3 あたたかい住まいにすると暮らしはどう変わる？

アンケートでの「住まいの温熱性能」別の比較について

アンケート回答者を、「住宅の温熱性能別」に比較するために、
本調査では、**窓ガラス性能の種類**について回答してもらい、その解答によって分類しています。

- | | | |
|----------------------|---|---------|
| □ シングルガラス | = | 温熱性能「低」 |
| □ ペアガラス | = | 温熱性能「中」 |
| □ Low-Eペアガラス+トリプルガラス | = | 温熱性能「高」 |

回答者がアンケートで住宅の断熱性能を回答してもらうのは難しいため、上記の分類をしています。
なお、この分類は、実際の住宅の断熱性能と高い相関があることが確認されています。*

* 食野遼 須永修通 大塚弘樹；住宅の断熱性能とライフスタイルの関係に関する研究、日本建築学会
大会学術講演梗概集（九州）、pp1145-1146、2016.8

あたたかい住まいの暮らしの価値

1.家事

家事行動が **おっくうに感じない**

4.空間

空間を広く利用した、
家族の気配を感じながらの暮らし

2.睡眠

睡眠環境が **快適**

5.家族

子育て・夫婦関係も
ゆとりができて良好に

3.防寒
行動

室内で暖かく過ごすための
手間が少ない

6.肌

肌の状態 **に満足できるように**

日常の暮らしの質が大きく向上する可能性が！



**あたたかい住まいでの、
暮らしのメリットは？**

冬の家事、寒くてつらくありませんか？

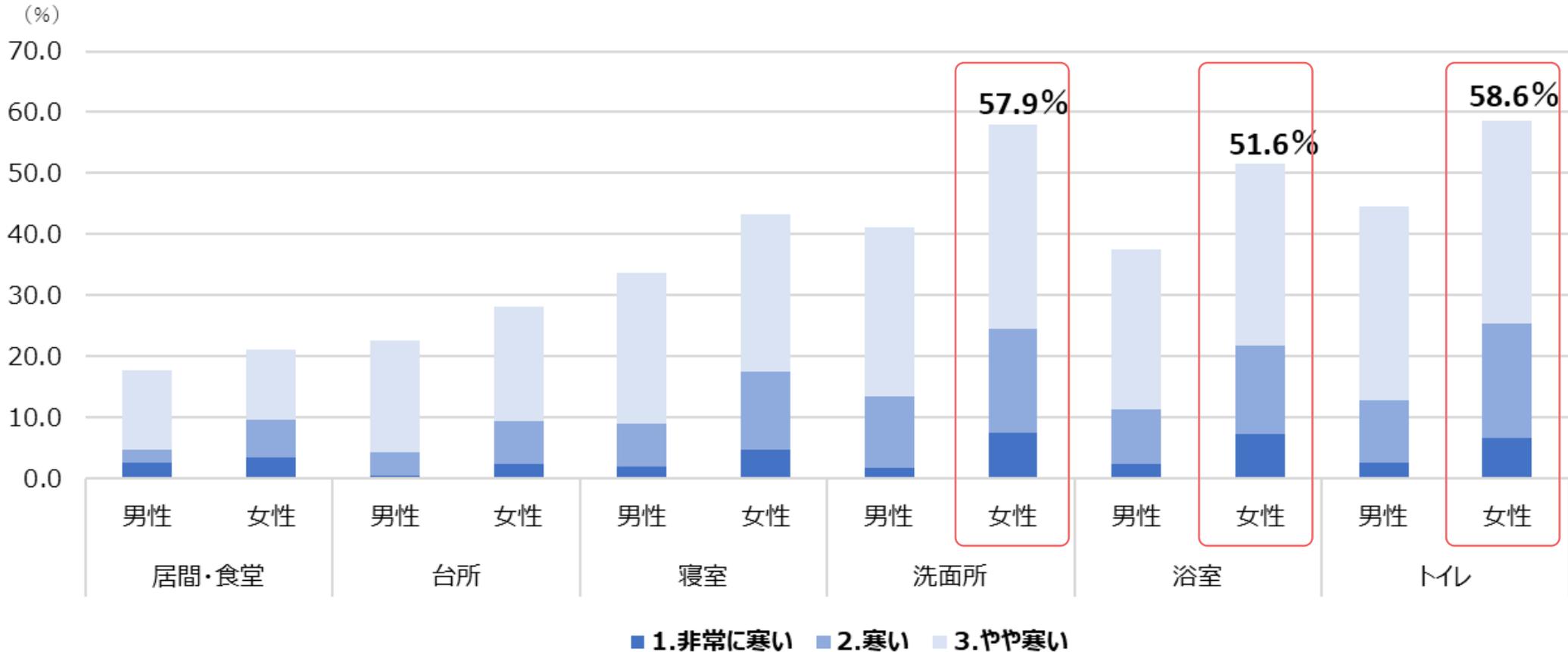
家事がおっくうなのは、怠け癖のせいではなく、
住まいの温熱性能のせいかも？！

家事を億劫に
感じるのは、
家の中の暑さの
せいだったかも



家の中で寒いと思っている場所はトイレ・洗面所・浴室

居間・食堂で暖房している時の、各部屋の温冷感について

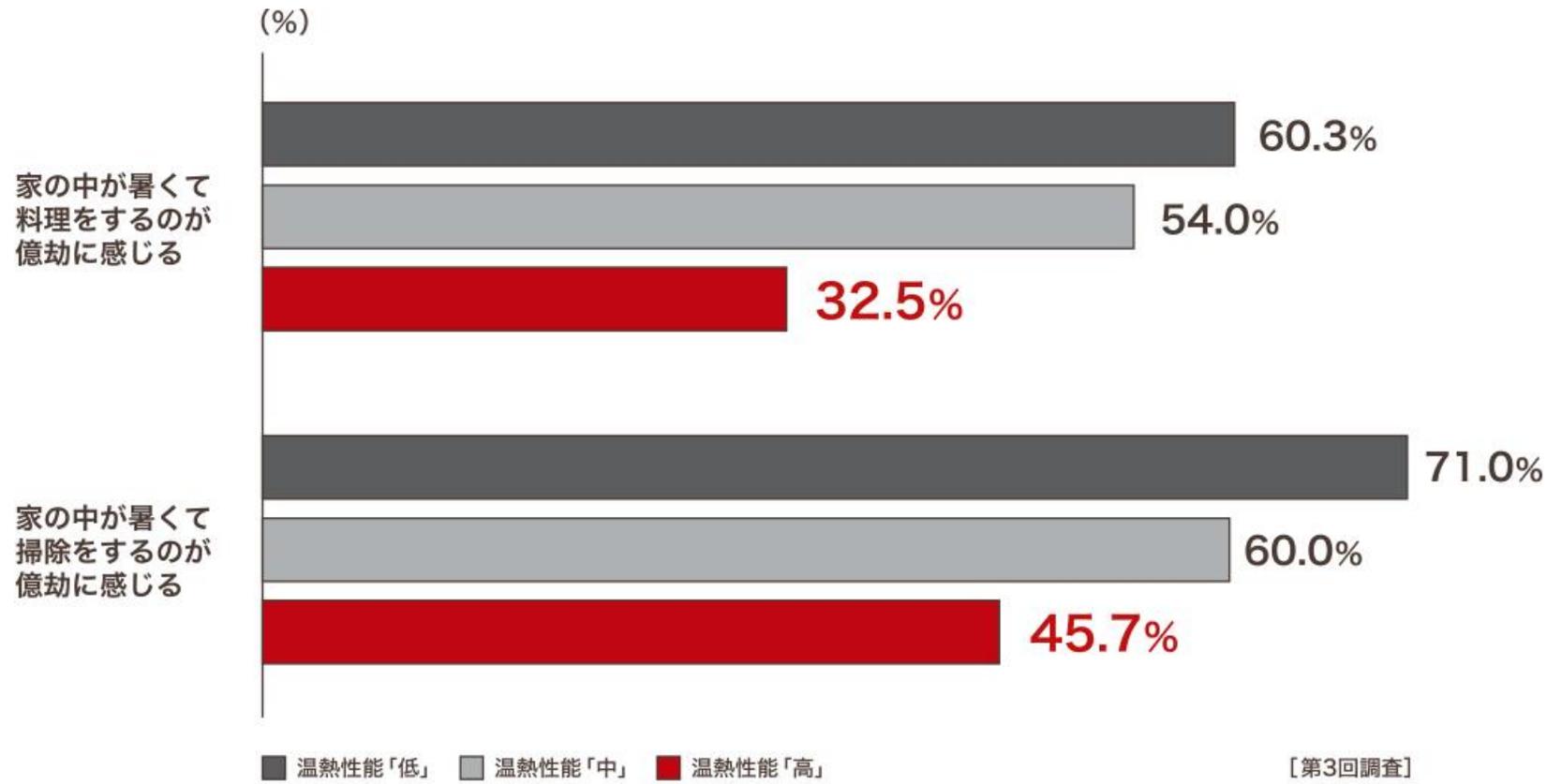


旭化成建材 快適空間研究所「住まいの温熱環境の実態と満足度調査」

(2018年3月/男女1229名/全国25都道府県/戸建住宅居住者)

温熱性能の高い住まいでは、 家事がおっくうに感じる人は少ない

Q 夏の家事行動、億劫に感じますか？（「当てはまる+やや当てはまる」計）

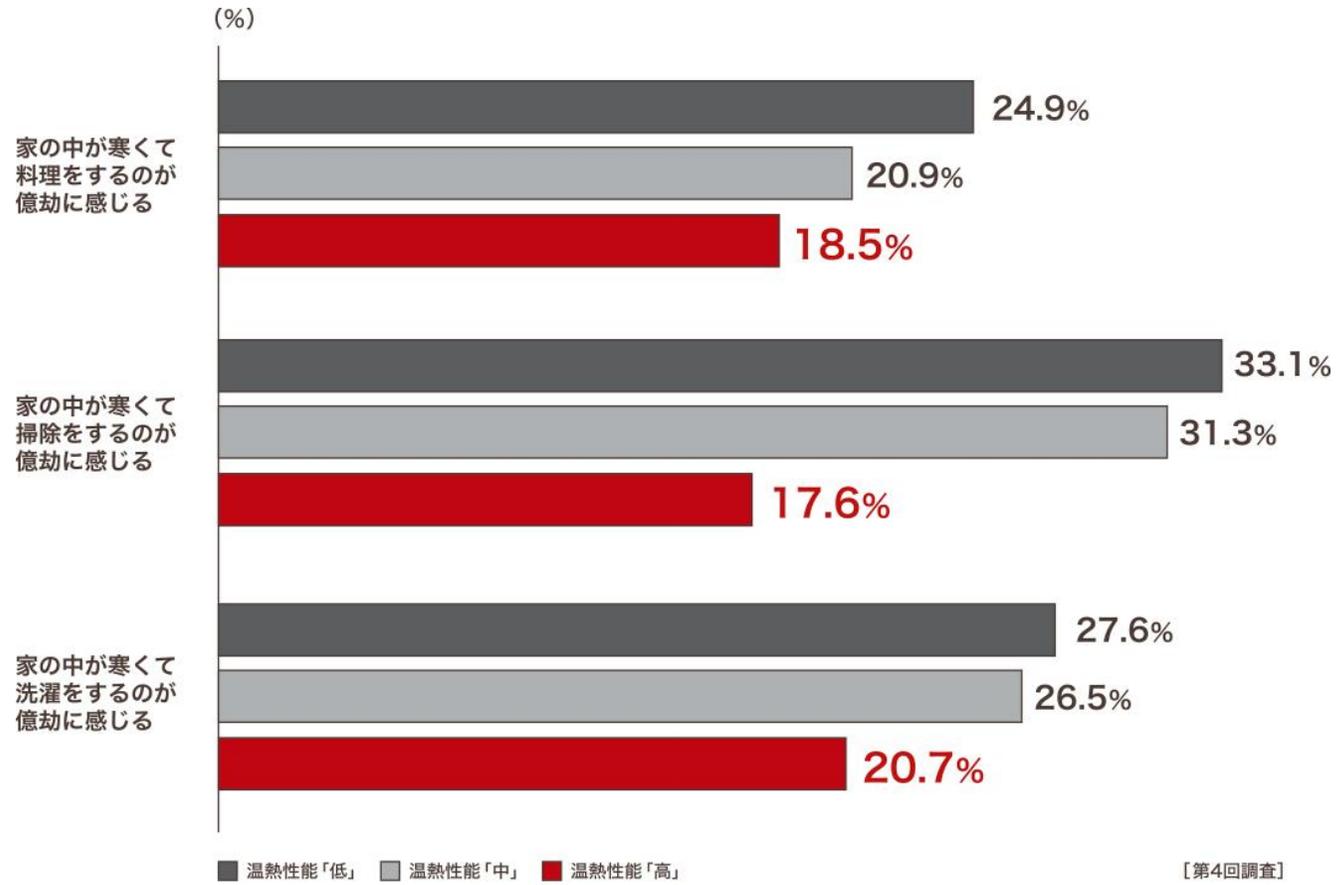


*温熱性能「低」・「中」・「高」の説明は調査概要(P6)に記載

出典：旭化成建材 快適空間研究所「あたたかデータブック」

「家事が楽。家の中が寒くないので、身軽に動ける」

Q 冬の家事行動、億劫に感じますか？（「当てはまる + やや当てはまる」計）



*温熱性能「低」・「中」・「高」の説明は調査概要(P6)に記載

[第4回調査]

訪問調査

「冬も台所が寒くないので、早朝の子供のお弁当作りが苦でなくなった」
(Eさん)

訪問調査

「冬の朝の朝食の準備がラクになった」
(Cさん)

訪問調査

「洗濯機のある脱衣室も寒くないので、洗濯の作業がラクになった」
(Bさん)

訪問調査

「家中、寒くないので身軽に動けて掃除がしやすくなった」
(Bさん Eさん)

お風呂場や脱衣所も寒さを感じず、 お掃除や洗濯が楽に

「お風呂場の寒さが気にならなくなり、お風呂掃除が楽にできます」

「普段の掃除や洗濯も寒さを感じないでできるようになりました」

1.家事

温熱性能の高い
住まい



冬の家事行動が おっくうに感じない

- ✓ 洗面所や廊下なども寒くないから、
お掃除や洗濯がラクになった
- ✓ 朝早く起きての朝食の準備もつらくない

1.家事

夏、家の中が暑くて、お料理が辛い・・・
そうめんを茹でるだけでも汗だくに

夏の冷房の効いていないトイレの掃除は、汗がとまらない



真夏のアイロンがけが苦でなくなった

前の家では暑くてアイロンがけするのが大変だったけど、
今の家では真夏のアイロンがけも苦でなくなりました
(訪問調査コメント)

温熱性能の高い
住まい



夏の家事行動が おっくうに感じない

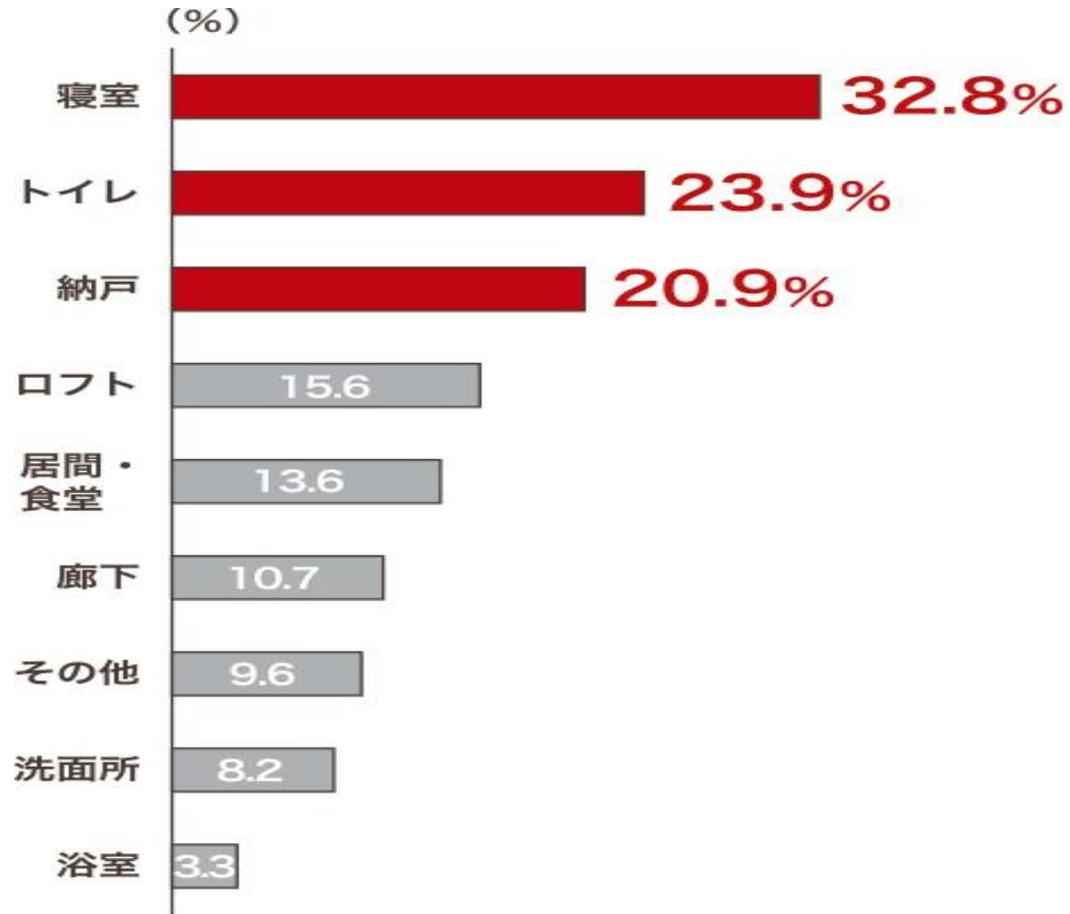
- ✓ キッチンも暑くないから、
火を使うお料理もおっくうでない
- ✓ 冷房の効いていないトイレの掃除もおっくうでない

2.睡眠

夏、ぐっすり眠れていますか？

夏、寝室は汗だくに

夏 部屋が暑くて使えない、あるいは使いたくない部屋やスペース
(複数回答)

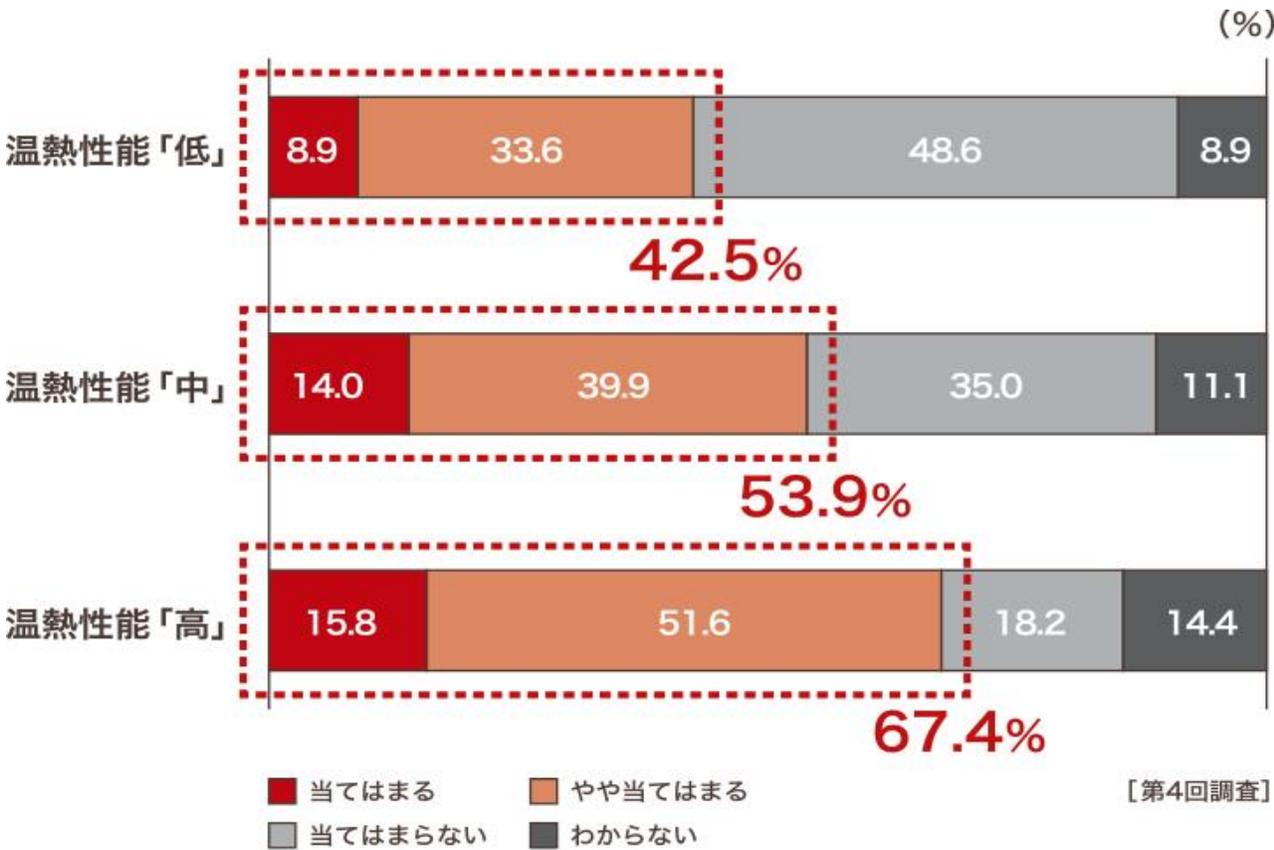


【第2回調査】

出典：旭化成建材 快適空間研究所「あたたかデータブック」

温熱性能の高い家では、睡眠時の温熱環境が快適

Q 冬 今の住まいは、寝るときの温熱環境が快適ですか？



* 温熱性能「低」・「中」・「高」の説明は調査概要 (P6) に記載

訪問調査

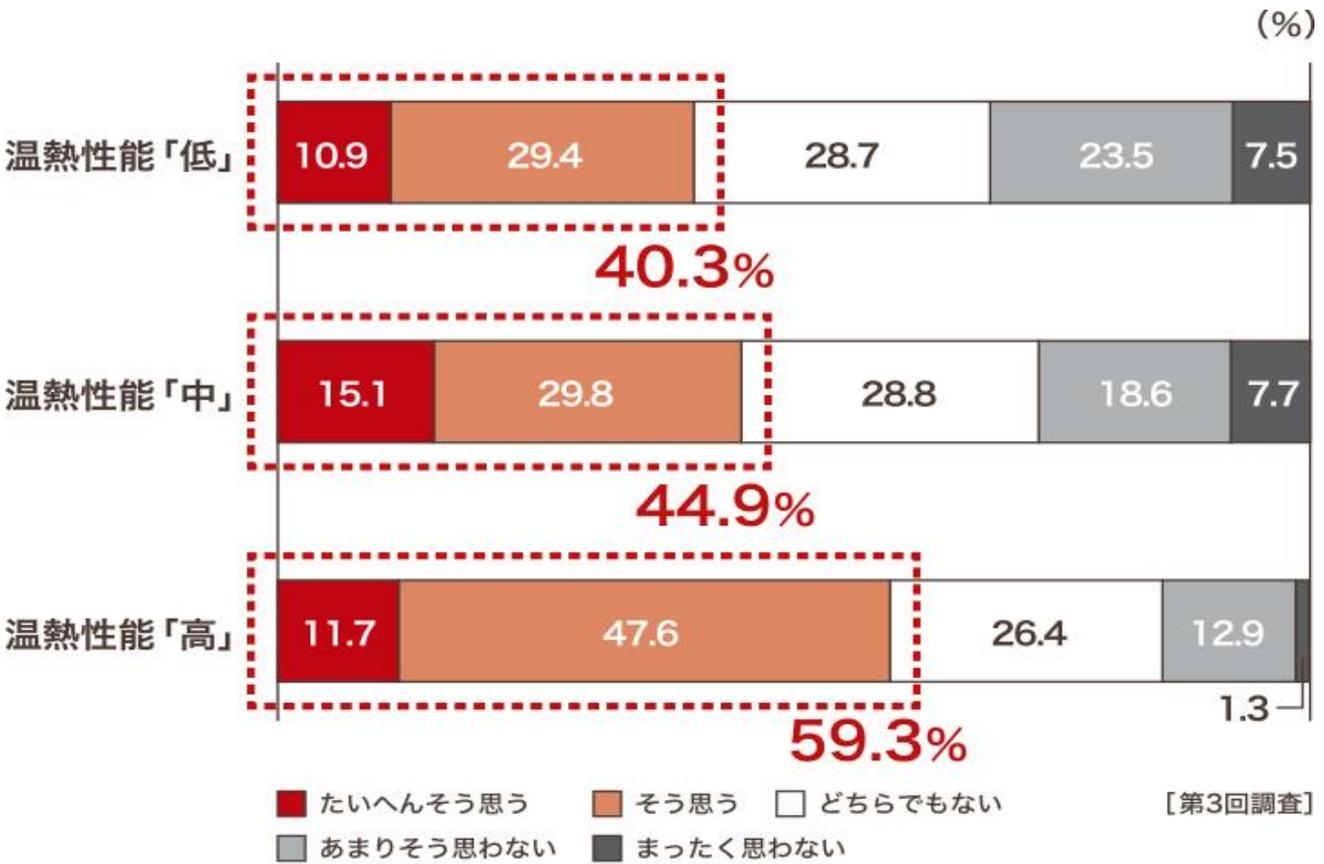
「前の家は寒かったので丸くなって震えたが、今の家になってよく眠れるようになった」(Dさん)



出典：旭化成建材 快適空間研究所「あたたかデータブック」

温熱性能の高い家では、睡眠時の温熱環境が快適

Q 夏 よく眠れますか？



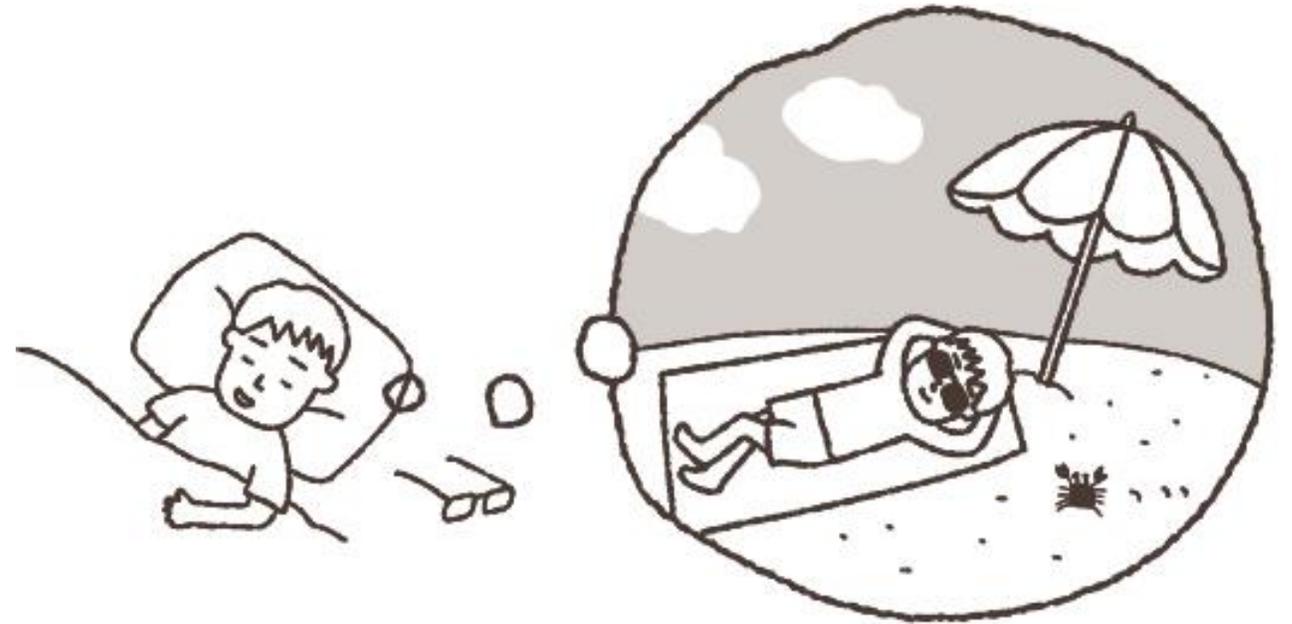
* 温熱性能「低」・「中」・「高」の説明は調査概要 (P6) に記載

出典：旭化成建材 快適空間研究所「あたたかデータブック」

夏暑くて起きることが がなくなった

夏、暑くて起きることがほと
んどなくなりました

(訪問調査コメント)



2.睡眠

温熱性能の高い
住まい



夏の睡眠環境が **快適**

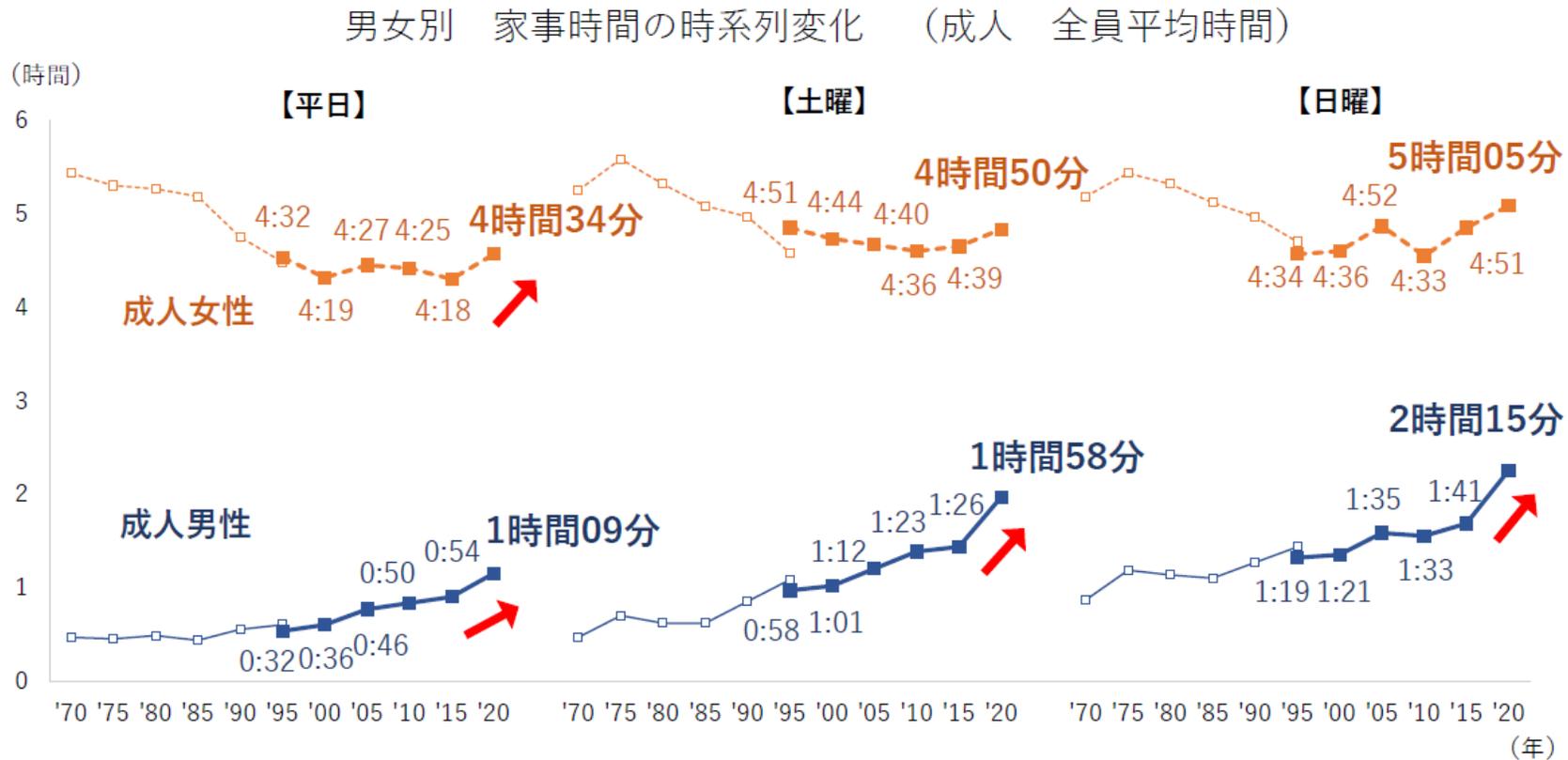
✓ 睡眠環境に満足している人が増えた

3.防寒
行動

室内が寒いと、
寒さをしのぐために、
やるべきことがとても多いですね。

男性も女性も家事時間が増加している

- ・男性は、平日・土曜・日曜のいずれも、家事時間がさらに増加。平日に1時間を超えた
- ・女性も平日に家事時間が増加。男女の差は大きいまま



・1995年に調査方式をプリコードからアフターコードに変更した。長期的な変化の方向をみるために両方式の結果を併記したが、数値そのものを直接比較することはできない。

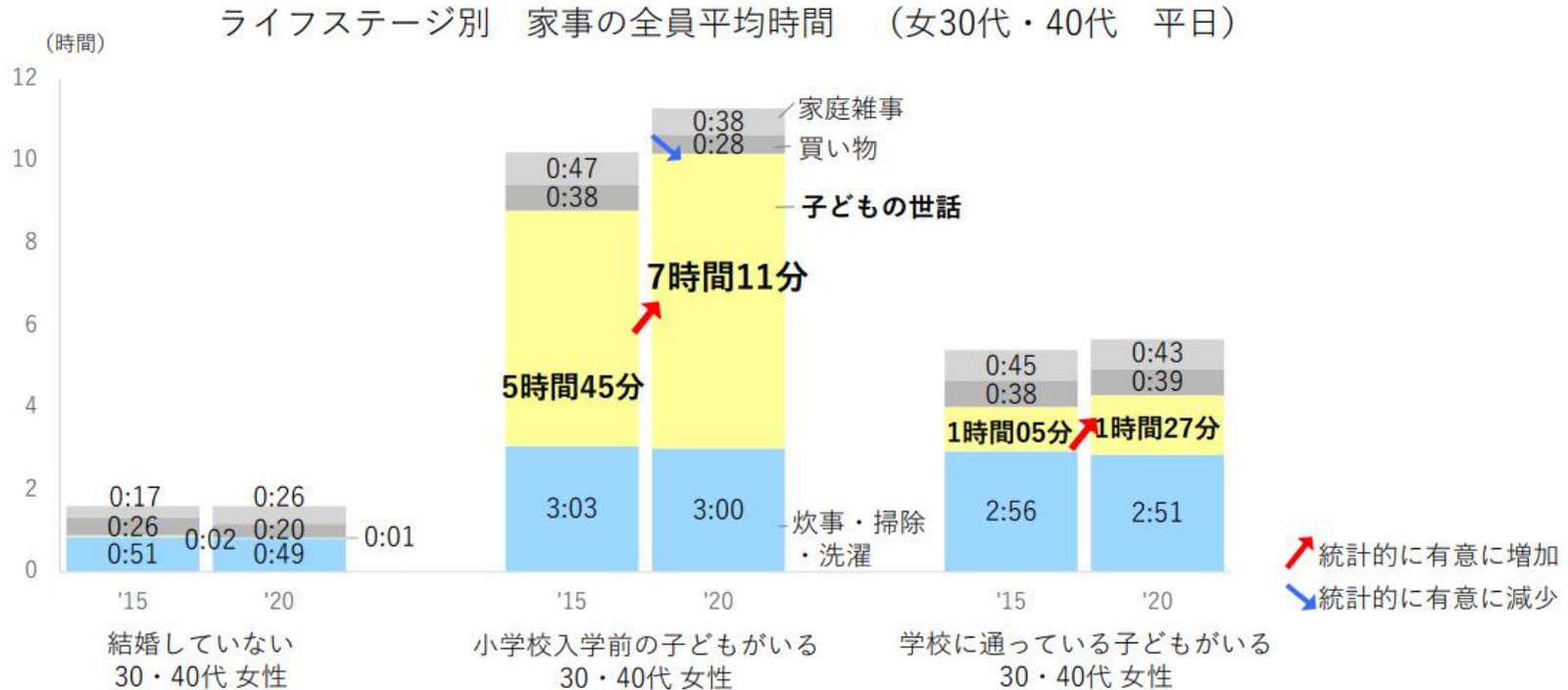
➡ 統計的に有意に増加

国民生活時間調査 2020

子育て世帯は忙しい

子どもの世話の増加

- ・未就学児の子がいる女性は、子どもの世話にかかる時間が非常に長い
- ・2015年から2020年にかけて、さらに子どもの世話が增加



「隣の部屋に行くときも、 上着を羽織るがなくなりました」

「前の家では隣の部屋に行くとき、上着を羽織って移動していましたが、今の家になってからはその必要がなくなりました」

(訪問調査コメント)



訪問調査

室内が寒くないと、重ね着をしなくなり、身軽に動けるようになりました。

[着衣]

はんでん、レッグウォーマー、フリースを着用しなくなった。

[ひと手間]

朝暖房をつけることなく、朝起きてパジャマの上に何も着ないで動ける。

あたたかい家なら
薄着で過ごせて
身軽に動ける～♪

「補助冷暖房器具の設置の手間がなくなった」

「補助暖房器具の収納場所も不要になった」

以前の家では、ホットカーペットやヒーターなどシーズンオフ中の暖房器具の収納場所に困っていたが、この家ではそれらの補助暖房器具が不要になって良かった。

出典：旭化成建材 快適空間研究所「季刊誌あたたか族6号」-事例紹介

3.防寒
行動

温熱性能の高い
住まい

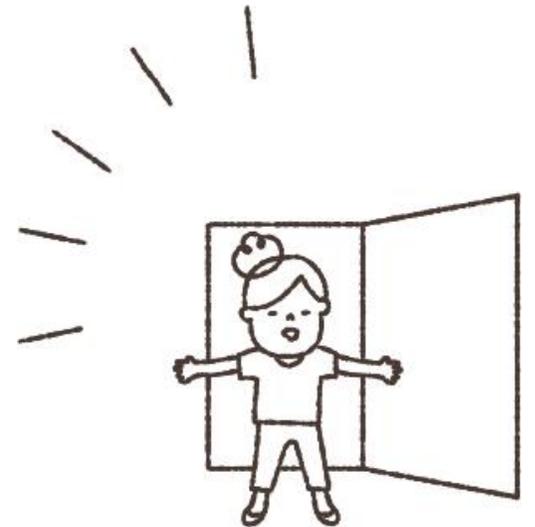


室内で暖かく過ごすための **手間が少ない**

- ✓ 寒さを防ぐための行動が少なくなった
- ✓ 補助暖房器具の収納場所が不要になり、設置の手間もなくなった

空間を広く利用した、家族の気配を感じながらの暮らし

なんか寒いと思ったら、ドアが開けっ放し！
ちゃんとドア閉めなさいって言ったでしょ～



開放的な空間で、スペースを有効活用

「廊下や階段も、勉強スペースとして活用できます」
(訪問調査コメント)

「室内ドア開けっ放しでも大丈夫。手を挟む心配もない」

室内ドア開けっ放しなので、
子ども達がドアに手を挟む心配もなく、
安心して、開放的に過ごせます。

コメント：千葉県 断熱性能UA値0.48（推定）

4.空間

温熱性能の高い
住まい



**空間を広く利用した、
家族の気配を感じながらの暮らし**

- ✓ 室内ドアも開放して、家族の気配を感じられる
- ✓ 廊下や階段も有効利用
- ✓ ドアで手を挟む心配もない

寒いとついイライラしてしまうことありませんか？

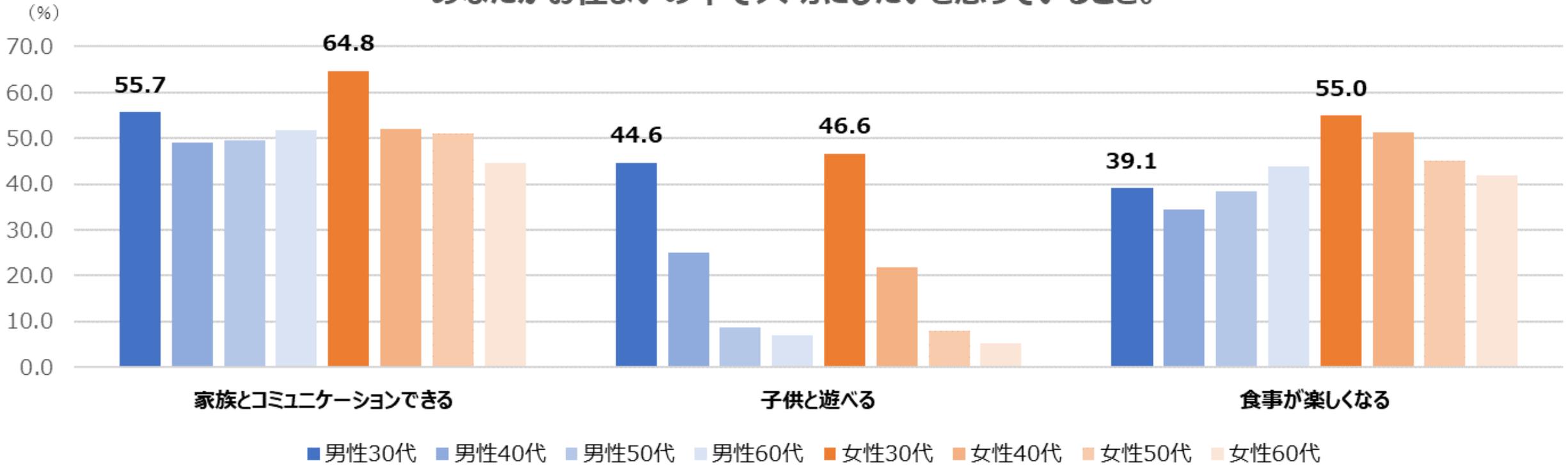
家の中が寒いと、つい、

「早く服着なさいって言っているでしょ～！風邪ひくよ～」
って、しつこく何度も言ってしまう、、、

怒ってばかり、、、

30代は、家族との時間を大切にしたいと考えている

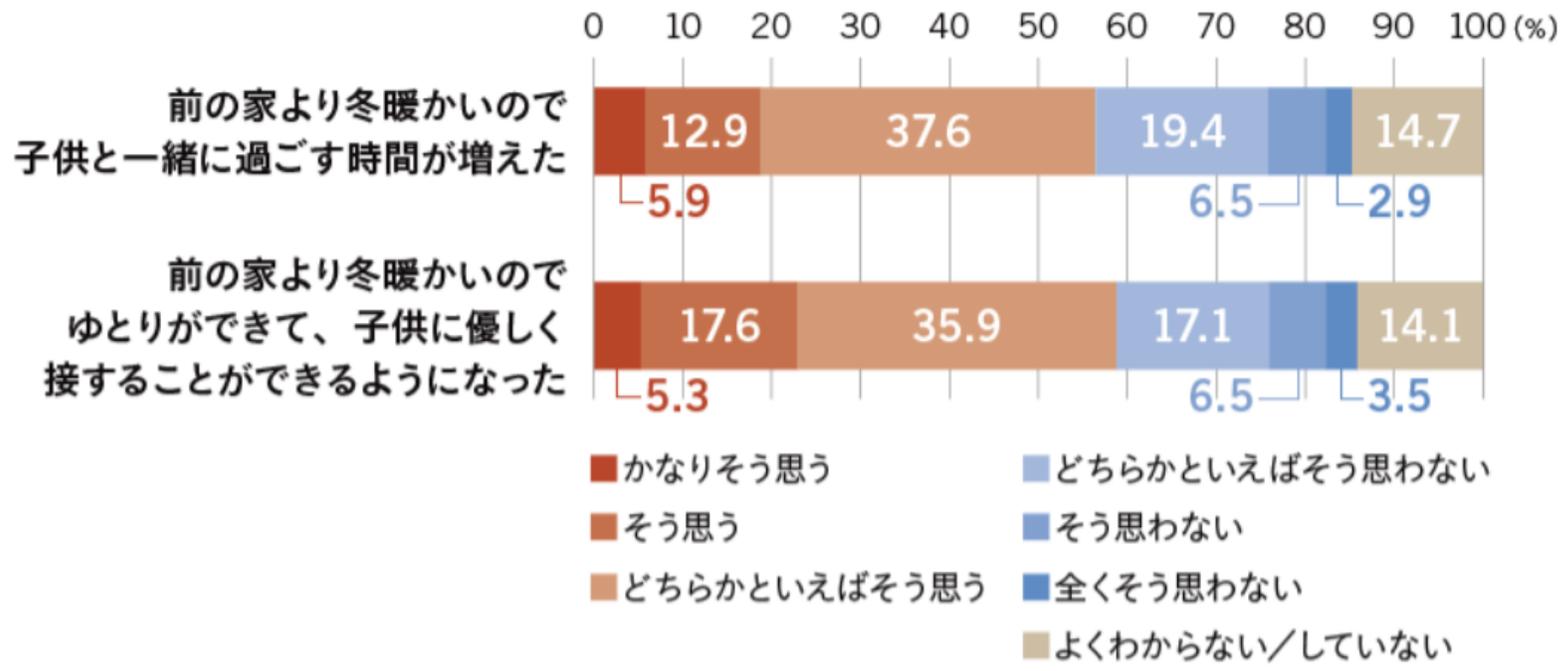
あなたがお住まいの中で大切にしたいと思っていること。



旭化成建材快適空間研究所「住まいの実態と満足度調査」
(2021年3月/既婚男女2531名/全国/戸建住宅・マンション居住者)

住まいがあたたかいと、ゆとりをもって子育てできるきざしが

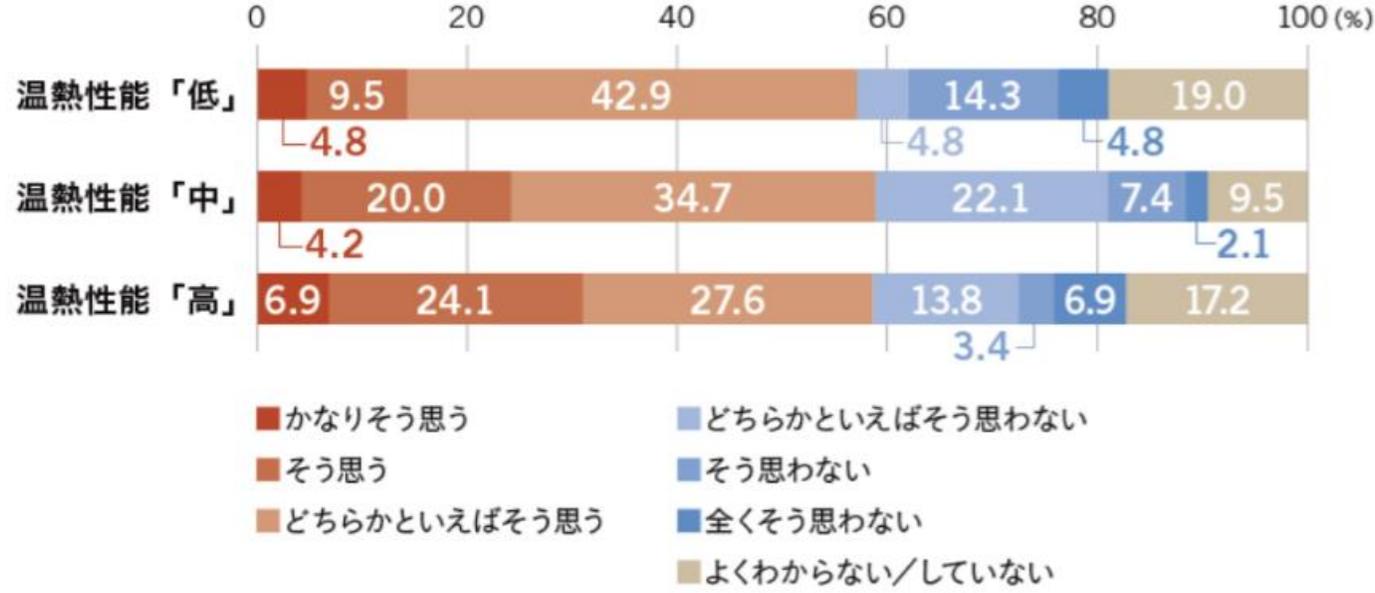
【前の家より暖かいことによる、子育ての変化】



出典：旭化成建材(株)快適空間研究所「住まいの温熱環境の実態と満足度」調査 (2020年3月/前の家より今の家の方が冬暖かく、子どもと同居している男女170名/9都府県/戸建住宅居住者)の結果より

温熱性能が高い住まいほど、 気持ちにゆとりができて子供に優しく。

[前の家より冬暖かいので、ゆとりができて、
子供に優しく接することができるようになった]



出典：旭化成建材(株)快適空間研究所「住まいの温熱環境の実態と満足度」調査
(2020年3月/前の家より今の家の方が冬暖かく、子どもと同居している男女170名/9都府県/戸建住宅居住者)の結果より

「やさしい母になった気がします」

「家が暖かくなったことで、早く服着なさいなどと、子供の体調を心配して注意することが減り、優しい母になったと感じます」

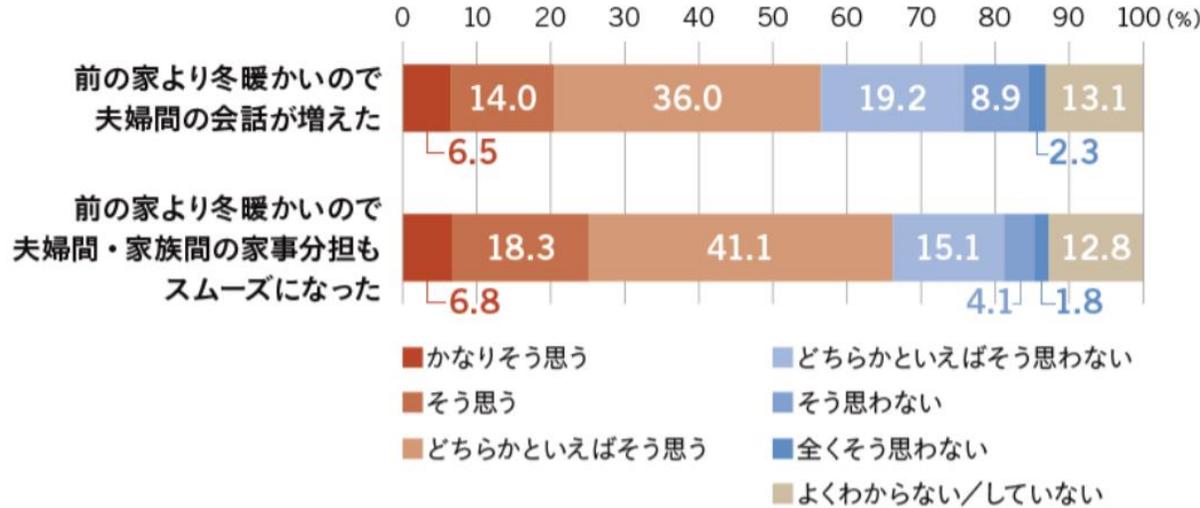
「今の家ではストーブが不要になったので、子供の火傷を心配して注意することが減りました」

(訪問調査コメント)



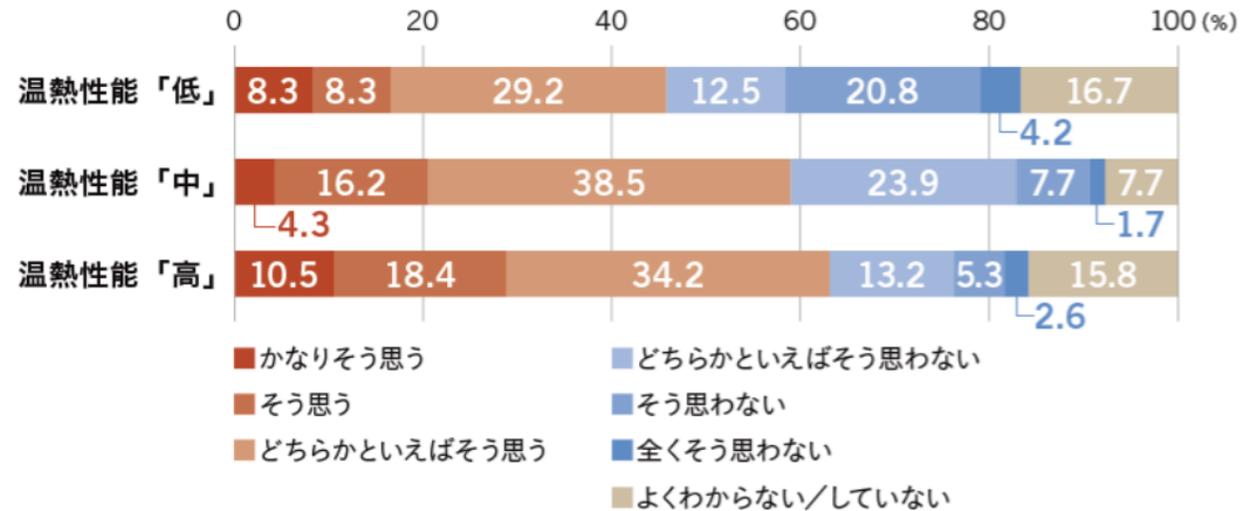
住まいがあたたかいと、夫婦関係も良くなる？！

【前の家より冬暖かいことによる、夫婦関係の変化】



出典：旭化成建材(株)快適空間研究所「住まいの温熱環境の実態と満足度」調査 (2020年3月/前の家より今の家の方が冬暖かく、配偶者と同居している男女219名/9都府県/戸建住宅居住者)の結果より

【前の家より冬暖かいので、夫婦間の会話が増えた】



出典：旭化成建材(株)快適空間研究所「住まいの温熱環境の実態と満足度」調査 (2020年3月/前の家より今の家の方が冬暖かく、配偶者と同居している男女219名/9都府県/戸建住宅居住者)の結果より

夫のお見送りも玄関まで。夫婦円満につながってる

前の家では寒くて寒くて、
リビングを閉め切って暖房していました。
リビングから出たくなく、朝は主人をリビングで見送って
いました。
今では、家中あたたかいので、玄関まで見送り

5.家族

温熱性能の高い
住まい



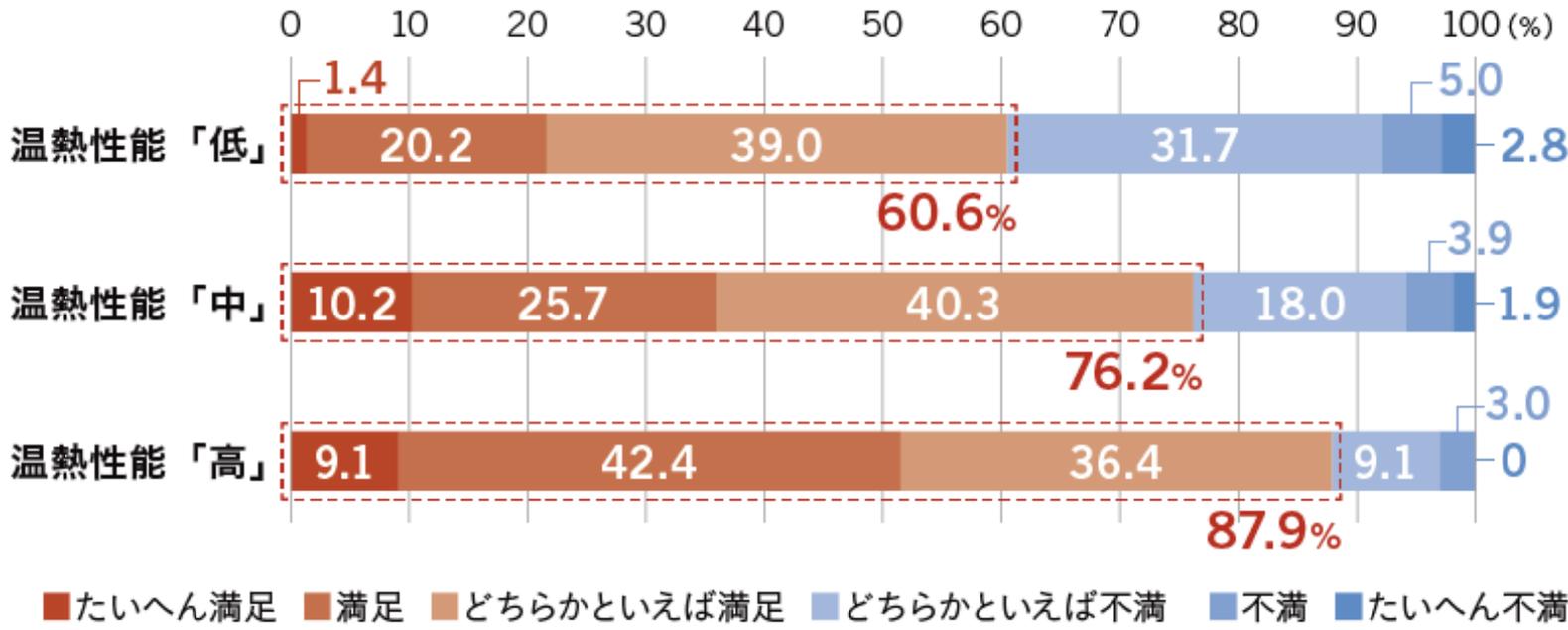
**気持ちにゆとりができて、
子育て・夫婦関係にも良好な傾向に**

- ✓ 子供に優しく接することができるようになった
- ✓ 夫婦関係が良くなる（夫婦の会話が増えた、家事がスムーズになった）

**あたたかい住まいは、
肌にも良い影響を与える？！**

温熱性能の高い住まいでは、 「肌の状況」に満足している人が多い

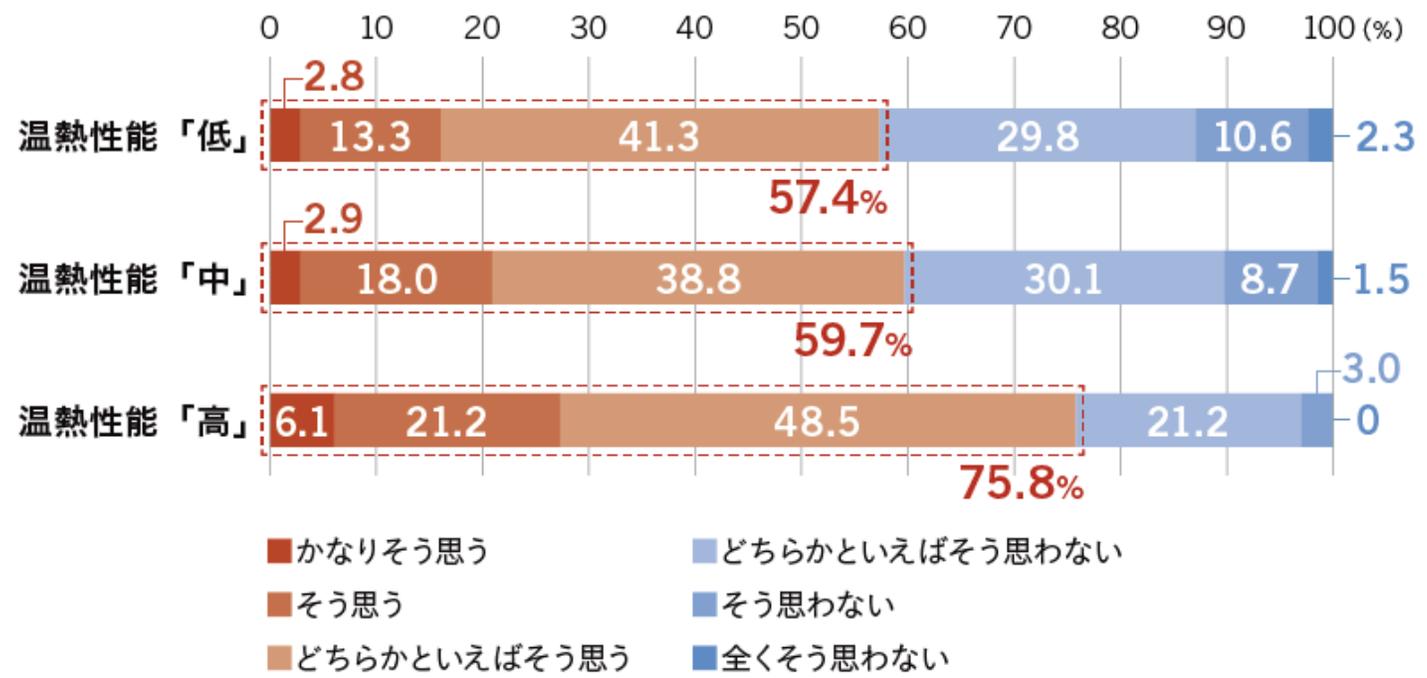
【「肌の状況（乾燥・みずみずしさ）」に対する満足度〈住まいの温熱性能別／女性〉】



出典：旭化成建材（株）快適空間研究所「住まいの温熱環境（あたたかさ、涼しさ）とアンチエイジング意識・満足度」調査
 （2020年2月／男女1123名／関東1都3県／戸建住宅居住者）の結果より

温熱性能の高い住まいに住んでいる人ほど、 「同年代の中で、肌の張り・ツヤや潤いが良い方だと思っている」

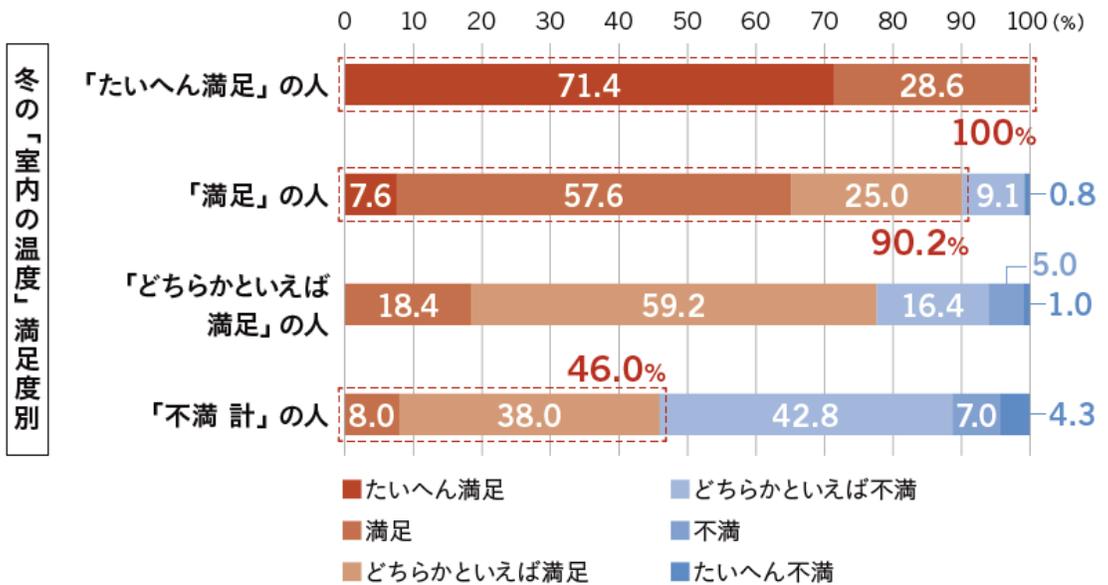
[同年代の中で、肌の張り・ツヤや潤いは良い方だと思う
〈住まいの温熱性能別／女性〉]



出典：旭化成建材(株)快適空間研究所「住まいの温熱環境(あたたかさ、涼しさ)とアンチエイジング意識・満足度」調査
(2020年2月/男女1123名/関東1都3県/戸建住宅居住者)の結果より

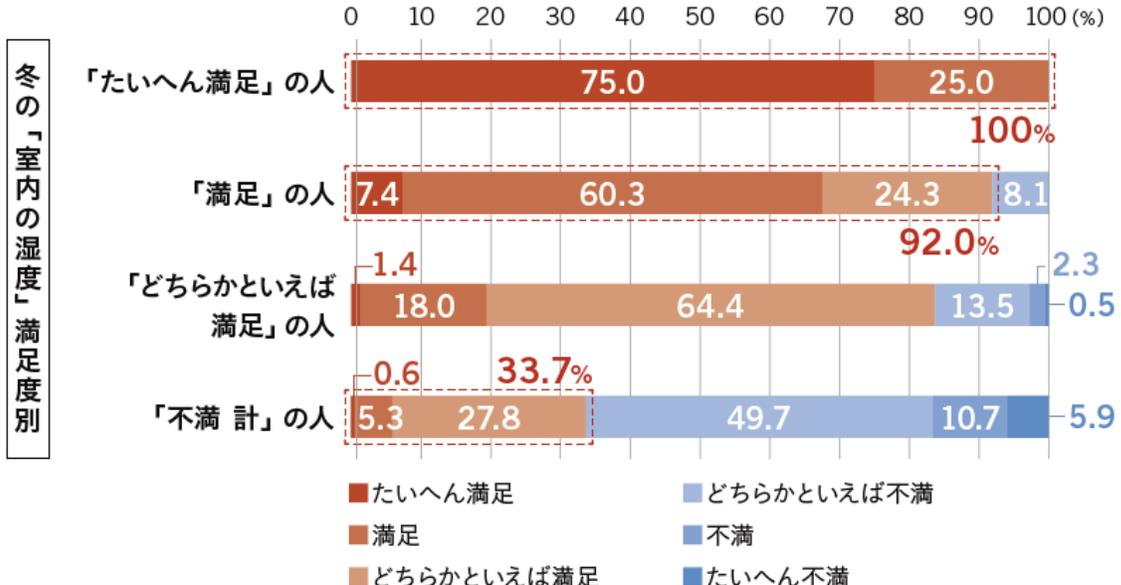
「室内の温度」「室内の湿度」に満足している人は、自身の「肌の状況（乾燥・みずみずしさ）」に満足している

【冬の「肌の状況（乾燥・みずみずしさ）」に対する満足度
〈室内の温度の満足度別／女性〉】



出典：旭化成建材（株）快適空間研究所「住まいの温熱環境（あたたかさ、涼しさ）とアンチエイジング意識・満足度」調査（2020年2月／男女1123名／関東1都3県／戸建住宅居住者）の結果より

【冬の「肌の状況（乾燥・みずみずしさ）」に対する満足度
〈室内の湿度の満足度別／女性〉】



出典：旭化成建材（株）快適空間研究所「住まいの温熱環境（あたたかさ、涼しさ）とアンチエイジング意識・満足度」調査（2020年2月／男女1123名／関東1都3県／戸建住宅居住者）の結果より

6.肌

温熱性能の高い
住まい



肌の状況に満足

✓ 肌の状況（乾燥・みずみずしさ）に満足している

(まとめ) あたたかい住まいの暮らしの価値

1.家事

家事行動が**おっくうに感じない**

4.空間

空間を広く利用した、
家族の気配を感じながらの暮らし

2.睡眠

睡眠環境が**快適**

5.家族

子育て・夫婦関係も
ゆとりができて良好に

3.防寒
行動

室内で暖かく過ごすための
手間が少ない

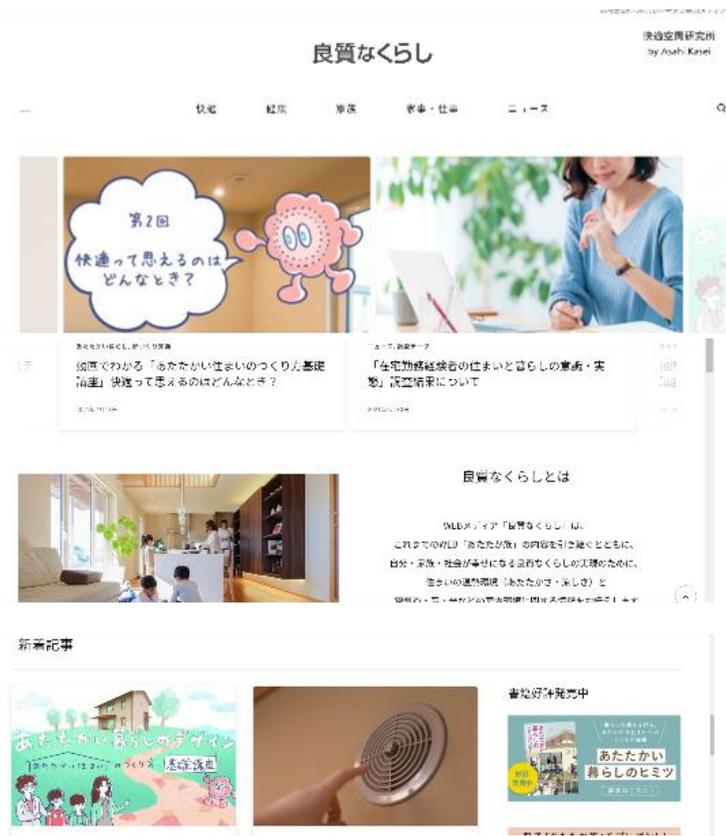
6.肌

肌の状態に**満足できるように**

日常の暮らしの質が大きく向上する可能性があります

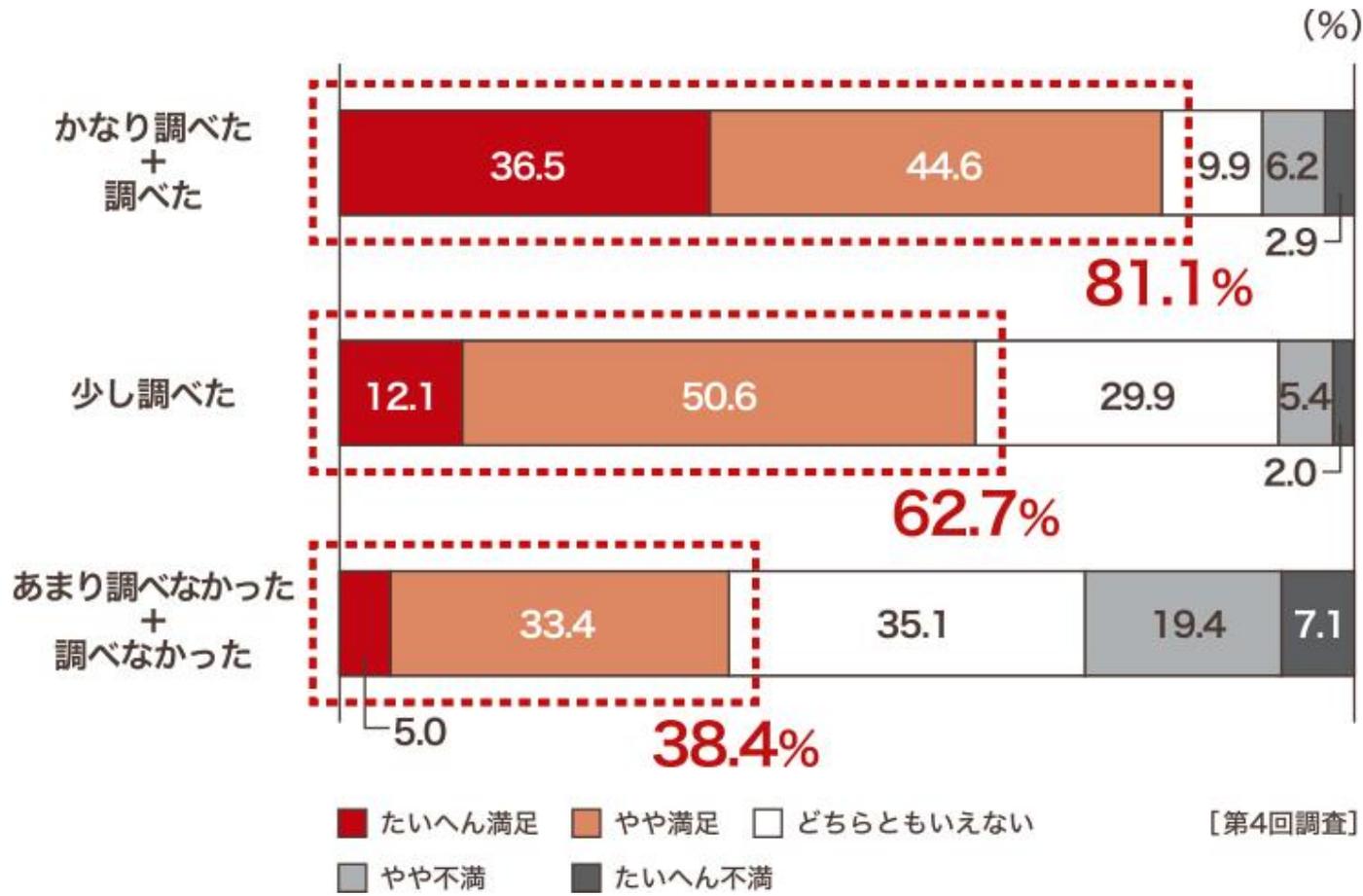
書籍「あたたかい暮らしのヒミツ」 WEB「良質なくらし」において、あたたかい暮らしの価値を発信

それ以外にも温熱性能の良い住まいに暮らすと、暮らしにメリットがたくさん生じることが分かっています。
書籍「あたたかい暮らしのヒミツ」にも本日紹介しきれなかったデータを掲載しています。
ぜひ、手に取ってみてください。

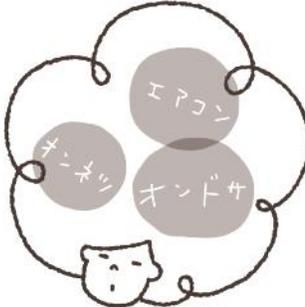


家づくりの時に、温熱環境について調べた人ほど、今の住まいの温熱環境に満足している

Q 年間を通した家の全体の温熱環境(あたたかさ、涼しさ)に対する満足度は？



調べた人は8割以上満足、調べなかった人はその半分以下。



出典：旭化成建材 快適空間研究所「あたたかデータブック」

本日本話しする内容

- 1 旭化成建材 快適空間研究所の紹介
- 2 あたたかい住まいにすると暮らしはどう変わる？
- 3 最後に

最後に

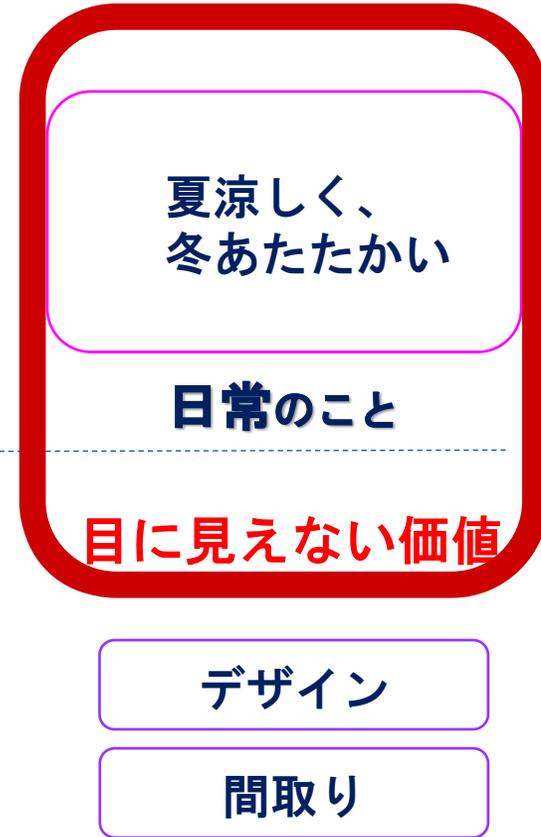
成熟している分野

生活者の認知は高く、
技術も発達している

これからの分野

生活者の認知・関心は高ま
りつつあるものの、
工務店・メーカーによる
性能のばらつきが大きい

生命にかかわること
安心・健康・病気に関すること



心地良さ
気持ちいい

ご静聴ありがとうございました

AsahiKASEI

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、

より豊かな“暮らし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

次の時代へ大胆に応えていくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

